

潮来市シンボルマーク



広報

いたこ

2006年
(平成18年)
1月1日

新年特集号

ITAKO Public Information



明けまして
おめでとらござります

潮来保育所で行われた餅つき

防犯パトロールで安心で安全なまちづくり

ごあいさつ

潮来市誕生5周年の節目の年を迎えて

潮来市長 今 泉 和



市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。平成18年、「戌」年の年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、市民の皆様をはじめ多くの方々から市政への深いご理解と温かいご支援ご協

力を賜りましたことに、心より感謝を申し上げます。昨年は、奥久慈憩いの森以来、29年ぶりに茨城開催となった「第56回全国植樹祭」が、当市の水郷県民の森をメイン会場に開催されましたことは、この上ない喜びでございます。

とりわけ、豊かな水と木々の緑がまばゆいばかりに輝く水郷路に、天皇皇后両陛下をお迎えできましたことは、誠に光栄に存じます。多くの感動を与えてくれた植樹祭・行幸啓、そしてこれらを円滑に運営いただきました茨城県を始め、ご支援とご協力をいただきましたボランティアの皆様、市民の皆様、そして関係者各位に、改めて心より感謝申し上げる次第です。今後は、醸成されました気運を大切に、緑化推進に努め、水郷県民の森の有効活用に向けて茨城県と協議して参ります。

加えて、水郷潮来の象徴とも言うべき橋 幸夫さんの「潮来笠」にまつわる記念碑が、さらには花村菊江さんの「潮来花嫁さん」の記念碑が建立され、活気に満ちたところであり、高速バスにつきましても「海浜幕張・東京ディズニーリゾート・お台場」新ルートが開通の運びとなり、通勤・通学やレジャーなど交流の広がりを見せ、定住促進策として、期待をしているところでございます。

さて、今年は潮来市が誕生してから5周年を迎えます。住民相互の融和が違和感なく推移され、心をひとつにまちづくりにご支援をいただき、改めて深く感謝を申し上げる次第であります。これから、先人各位が築き上げた素晴らしい歴史と文化・伝統を継承し

「元気で勢いのある潮来市」を目指し、精一杯取り組んでいく決意であります。

しかしながら、国と地方のあり方を見直す「三位一体の改革」に伴い、地方は非常に厳しい内容となっております。行財政改革を推進することはもちろんのこと、市民の皆様と協働し、この難局を乗り切って参りたいと考えております。

このような中、継続的に実施されております潮来第二中学校改築事業を推進し、教育環境の整備を優先的に進めます。昨年11月に校舎本体の第1期工事が竣工に至り、速やかに新校舎での授業対応が図られ、本年は第2期工事、そして19年度に完了すべく、体育館・特別教室などの整備を進めて参ります。

また、児童生徒の安全確保に向けた取り組みにつきましても、学校やPTAの皆様をはじめ、子ども110番の協力者の方々、地域の皆さんとの連携を図り、警戒活動を強化して参りたいと存じます。

次に、本年5月にオープンを予定しております潮来市立図書館につきましても、生涯学習活動のサポート、地域の交流の場として愛される施設となりますよう整備を進めているところでございます。そして、前川運動公園の施設等の整備についても、市民の皆様がスポーツに一層触れ親しまれますよう利用環境の充実を図って参ります。

続いて都市基盤の整備においては、国道51号バイパスの整備促進に取り組みとともに、潮来市街地と台上戸地区とを結ぶ環状道路をはじめとした主要道路の整備を引き続き進め、日の出地区中央幹線道路等についても、早期改良を目指して努力して参ります。

社会福祉では、子育て支援関連事業の推進や制度改正を踏まえ介護保険事業の拡充を図るべく、新たに介護予防事業を加えた地域包括支援センター設置事業に取り組んで参ります。

さらには、前川の排水対策について、国・県一体となって整備を推進して参る所存でございます。

その他、都市基盤・生活基盤の整備はもとより、環境・保健・福祉・文化など各分野において、市民の皆様と連携・協力しながら、「安心して暮らせるまち」、「誇りに思えるまち」、「幸せを感じるまち」の実現に向け、更に努力して参ります。

今後ともなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

新春の

新年のあいさつ

潮来市議会 議長 埜 信一



市民の皆様、明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃から議会運営と議員活動に暖かいご理解と絶大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、2年前塚本議長、酒井副議長より、バトンタッチして栗飯原副議長と共に議会運営の舵取りをさせていただきましたが、思い出多い二年間でした。

特に昨年は、全国植樹祭が当市の水郷県民の森で開催され、天皇・皇后両陛下には、牛堀小学校の児童たちとの心温まる交流、前川あやめ園での水郷情緒を堪能していた

だくことができ、案内者のひとりとして大変感激したものであります。また、財政事情が厳しい中、懸案でありました潮来第二中学校の新校舎が完成し、卒業までの短い期間ではありますが、3年生が入れるようになりました。1年前のプレ植樹祭のとき、二中の生徒さんが学校紹介で「市内で一番ぼろな校舎」と言ったのが強く印象に残っておりましたが、これからは「市内で一番新しい学校」と誇れる訳で、この後の体育館、特別教室等も着実に整備されるよう見守りたいと思います。

観光面では、歌手の橋幸夫さんの「潮来笠」記念碑と花村菊江さんの「潮来花嫁さん」記念碑が立て続けに建立され、新たな観光資源として観光客の増加に寄与するものと大いに期待をしているところです。

今年は、旧牛堀第一小学校跡地を利用した待望の市立図書館オープンも予定されており、牛堀地区の活性化と児童・生徒や市民の皆様への情報提供、知識・文

化の向上に役立つものと確信しております。

あいかわらず地震や台風などの自然災害や政治テロも世界中のいたるところで頻発しておりますが、日本の景気は踊り場を脱却したのではないかと言われておりますし、国会の勢力図も大幅に変わり、与党が絶対安定多数を得たことで国の構造改革が一層推進され、地方にも一筋の光明がさしてきた感じがします。

ここに新年を迎え、本市の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

潮来市も厳しい財政状況ではあります。が、私ども議決機関といたしましては市民生活の安定向上を図るため、要望、陳情、請願等を迅速に審査し、さらに創意工夫を重ね、市民の皆様のご期待にこたえられるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。市議会を代表しての新年のあいさつといたします。



水郷いたこ大使、新たに御二人就任！

市では平成14年9月に「水郷いたこ大使」制度ができ、既に潮来市出身の7名の方を委嘱し、潮来市のPRにご協力いただいております。

昨年、前川あやめ園に「潮来笠記念碑」(H17.7.5)、「潮来花嫁さん記念碑」(H17.10.15)が建立されたのを機に潮来にゆかりが深く全国的にも有名な方として、歌手の橋 幸夫さんと花村菊江さんに、この度、水郷いたこ大使の委嘱をいたしました。御二人とも快く受けていただき、大使就任のメッセージをいただきましたのでご紹介いたします。

歌手としてデビューして45年の節目の年に、潮来市前川あやめ園に潮来笠の記念碑が建立され、加えて「水郷いたこ大使」のお役を頂きました事は、大変光栄に思います。

水の惑星と言われる地球、しかしそこに住む我々人類は大いなる経済発展による豊かさによ



歌手として人生を歩み始めてから『潮来花嫁さん』という曲と出会い、歌手になったら「一度は出たい」という夢もありましたNHK紅白歌合戦に2年連続出場させて頂くことが出来たのも、この水郷潮来を歌った『潮来花嫁さん』という曲に巡り会えたおかげと、振り返れば感慨深い思いになります。そして、『潮来花嫁さん』



という曲は私の宝物となり、『潮来』は私の「心の故郷」となりました。

美しい水の町『潮来』を訪れば、町行く人々の温かな人柄にふれることが出来、町全体がまるで「家族」のような優しさで包みこんでくれて、心を癒してくれる場所だと、いつも感じております。

『潮来花嫁さん』という曲にめぐり逢って日本全国津々浦々ギッチャギッチャと色々な場所まで歌って参りましたが、この度、市や観光協会、多くの関係者の皆様のお力添えで市の観光施設「前川あやめ園」に『潮来花嫁さん』の素晴らしい歌碑が建立され、歌手になつてから生涯忘れることの

り、人類の命を守り、育む、大切な水の恩恵を忘れ、おろそかにして来ました。そればかりか目先の便利さ利益を優先し、汚染し続けて来たのが現状です。

21世紀は水の時代と言われていると思いますが、それは取りも直さず我々の今までの生き方を反省し、水によって生かされ、癒され、守られている事を再認識し、水の惑星地球を再び輝かさなければならぬ時代であると言うことだと思えます。

あやめ咲くのどかで穏やかな水郷の風景、風情。それは高度成長と言う名目で経済優先に駆

出来ない幸せを頂きました。そして、「水郷いたこ大使」という大役を任命されました事は、身に余る光栄と感謝の思いでおります。

これからの潮来の発展の為に、微力ながらお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。皆様今後とも応援を頂けますよう宜しくお願い致します。また初心に戻って♪潮来花嫁さんは舟で行く♪ギッチャギッチャギッチャコッ♪と全国に潮来を宣伝して参りたいと思っております。

いついつまでも『潮来花嫁さん』と共に歩んで参ります。

水郷いたこ大使

花村 菊江

け抜けた我々世代に於いて、忘れてはならない心の原風景であるように感じます。

微力ながらそんな時代を生きた一人として、水の郷、潮来を多くの方々に伝えて行くことで、今を生きる人々に心の原点を少しでも思い出して頂き、改めて水への感謝を思い起こして頂けたらと願っています。それが潮来市出身ではありませんが、歌を通して深いご縁を頂いた私に出来るささやかな架け橋ではないかと思えます。

水郷いたこ大使

橋 幸夫